

# 1

## 説明的文章(1)

学習のねらい

- ① 要点・要旨をまとめる
- ② 理由の記述

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈増井光子「都会の中の動物たち」より〉

1. 説明的文章(1)

(注) 類人猿 最も人類に近いサル仲間。ゴリラ・チンパンジーなど。  
 模倣性 〓まねをしたり、似せたりする性質。  
 陸棲動物 〓陸地で生活する動物。  
 語彙 〓単語の集まり。ここでは、使える言葉全体のこと。  
 伴侶動物 〓家族のように人間と暮らし、一生をともにする動物。

□ (1) 線a～cのカタカナを漢字に直して書きなさい。

d	a
e	b
c	

□ (2) 線①「ヒトの行いにはほとんど関心を示さなかったジュン」とありますが、なぜですか。その理由を、三十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□ (3) 線②「こんどはうって変わって熱心にサチコの手元を見詰め始め、なんとたった一回見ただけで、クルミ割りを会得してしまったのです」とありますが、なぜですか。その理由を、三十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□ (4) 線③「この習慣」とは、何を指していますか。十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□ (5) 線④「動物たちが音声やにおいや身ぶりを交えて情報伝達をしているとはいえず、複雑なことを伝達しようとするヒトの言葉にまざるものはないのではないだろうか」とありますが、この文で述べられている内容の要点をまとめて、四十字以内(句読点も字数に数えます)の一文で答えなさい。


□ (6) 線⑤「それ」が指している内容を、三十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□ (7) 線⑥「恐ろしくなってしまうくらいです」とありますが、どう考えて「恐ろしくなってしまう」のですか。「自分が」と考えるから。」という形で、四十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。ただし、「鏡に己が心を映す」ということばを用いないこと。


自分						

② 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SAMPLE

1. 説明的文章(1)

〈梅谷猷二「ヒトが変えた虫たち」より〉

(注) 急逝⇨急死。

ナチュラリスト⇨自然を研究、観察する人。

ルーツ⇨先祖。 傍証⇨間接的な証拠。

アブラナ科野菜⇨キャベツ、ダイコンなど。

新興⇨新しくおこること。

□(1) — 線①「この常識」が指している内容を、二十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


(2) — 線②「すっかり選手が交替してしまったのです」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

□①「すっかり選手が交替してしまった」とは、どういう意味ですか。五十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□②「すっかり選手が交替してしまった」原因として、まず最初にどんなことが起きましたか。「東京」ということばを必ず用いて、十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□③ ②の結果として「選手が交替」するような、どんなことが起きましたか。

か。六十〜七十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(3) — 線③「そこに、日かげの好きなムラサキハナナが広がっていたこともその進出を助けたのかも知れませんが、この「広がっていたこと」の部分で「広がっていたこと」にした場合、これ以下の部分はどのように書き換えるのが適切ですか。「助ける」ということばを用いないで、二十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(4) — 線④「木のない森」とありますが、東京のどんな様子をたとえたものですか。十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。


□(5) — 線⑤「ぼくにはよくわかりませんが……」とありますが、筆者は本当はどう考えていると思われませんか。「ヒトの生存」という書き出しで、二十字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。
